

赤穂第 2 バイオマス発電所増設の件

株式会社日本海水はこの程、赤穂発電所（兵庫県赤穂市）に第 2 バイオマス発電所を増設し、電力事業をさらに強化することといたしました。

日本海水は、製塩業界におけるリーディングカンパニーであり、年間 40 万 ton を生産しております。塩事業の他、環境事業をはじめとし、水事業や農業事業など、製塩事業で培った技術をベースに新規事業開発に取り組んでいます。塩事業においては、製塩工程で大量の電力を使用するため、従来から発電設備を保有しておりました。日本海水では、平成 26 年度に老朽化した製塩用ボイラを更新するにあたり、FIT 制度の活用及び CO₂ 削減や雇用の創出など社会貢献を勘案し、木質バイオマス発電所（第 1 バイオマス発電所）と天然ガスボイラを建設し、本格的に電力事業に参入しております。その後、電力事業は順調に推移し、基幹ビジネスとなっております。今回の発電設備増設は、電力事業をさらに拡大させるものであります。

第 2 バイオマス発電所の増設にあたりましては、今後、未利用材が不足することが予想されることから、樹皮等の山林資源の一層の活用を図るとともに、Palm Kernel Shell (PKS) * 1 の割合が増えることを考慮し、様々な原料の燃焼に対応した設備といたします。また、第 2 バイオマス発電設備の燃料調達と保管場所確保のため、第 2 木質チップ工場の建設を計画しております。

営業運転は、平成 32 年度上期中に開始する予定です。

本件の案画にあたりましては、間伐材等の山林放置木の一層の活用による関西・九州地区の自然環境保護や再生可能エネルギーの利用による CO₂ の削減効果（11 万 ton/年）* 2 など環境改善に資するとともに、地域の林業・木材産業振興、赤穂市における雇用創出など地域活性化に貢献すべく検討を進めてまいりました。

日本海水は、今後も製塩を通じた電力事業をさらに強化してまいります。

* 1 : パームヤシの殻の部分、パーム油を生産する過程で発生する農作物残渣。

* 2 : 第 2 バイオマス発電所の導入による CO₂ の削減量は年間 11 万 ton と試算しております。今回の削減量については、関西電力（株）様より公表されている「平成 27 年度 CO₂ 排出係数の報告について」を用いて算出し、関西電力様の発電量の一部を当社の第 2 バイオマス発電所の送電置き換えた場合として試算しております。

<設備概要>

設備能力：第2バイオマス発電所

- ・最大発電出力：30,000kW
- ・燃料使用量：235,000ton/年（燃料：PKS、樹皮、間伐材他）

<日本海水概要>

- ①本 社：東京都千代田区神田駿河台4丁目2番5号
- ②代 表：代表取締役社長 金澤正博
- ③売 上 高：271億円（平成28年度連結）
- ④事 業 内 容：塩事業、環境事業、食品・農業事業、電力事業
- ⑤工 場 所 在 地：赤穂工場（兵庫県赤穂市）、讃岐工場（香川県坂出市）、
小名浜工場（福島県いわき市）、熊本工場（熊本県玉名市）
アクアインテック株 本社（静岡県掛川市）、オールライナー部
（静岡県菊川市）
- ⑥従 業 員 数：698名（平成29年6月末現在連結）

以上

【本件に関するお問い合わせ】

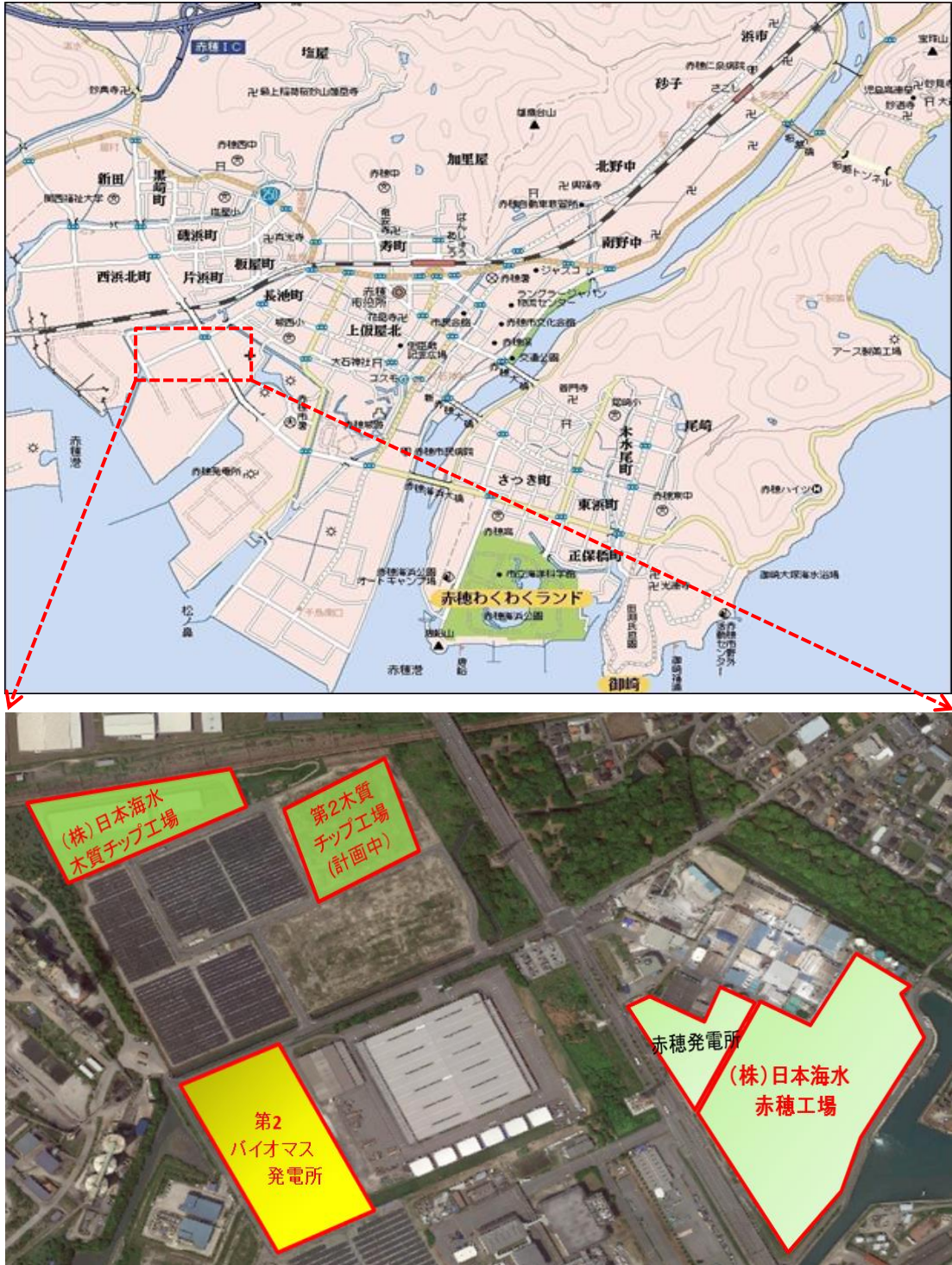
株式会社日本海水 人事総務部 片桐 浩一

東京都千代田区神田駿河台4-2-5 御茶ノ水NKビル7F TEL：03-3256-8311

参考資料

赤穂電力事業強化に関する概要

1. 赤穂発電所のロケーション



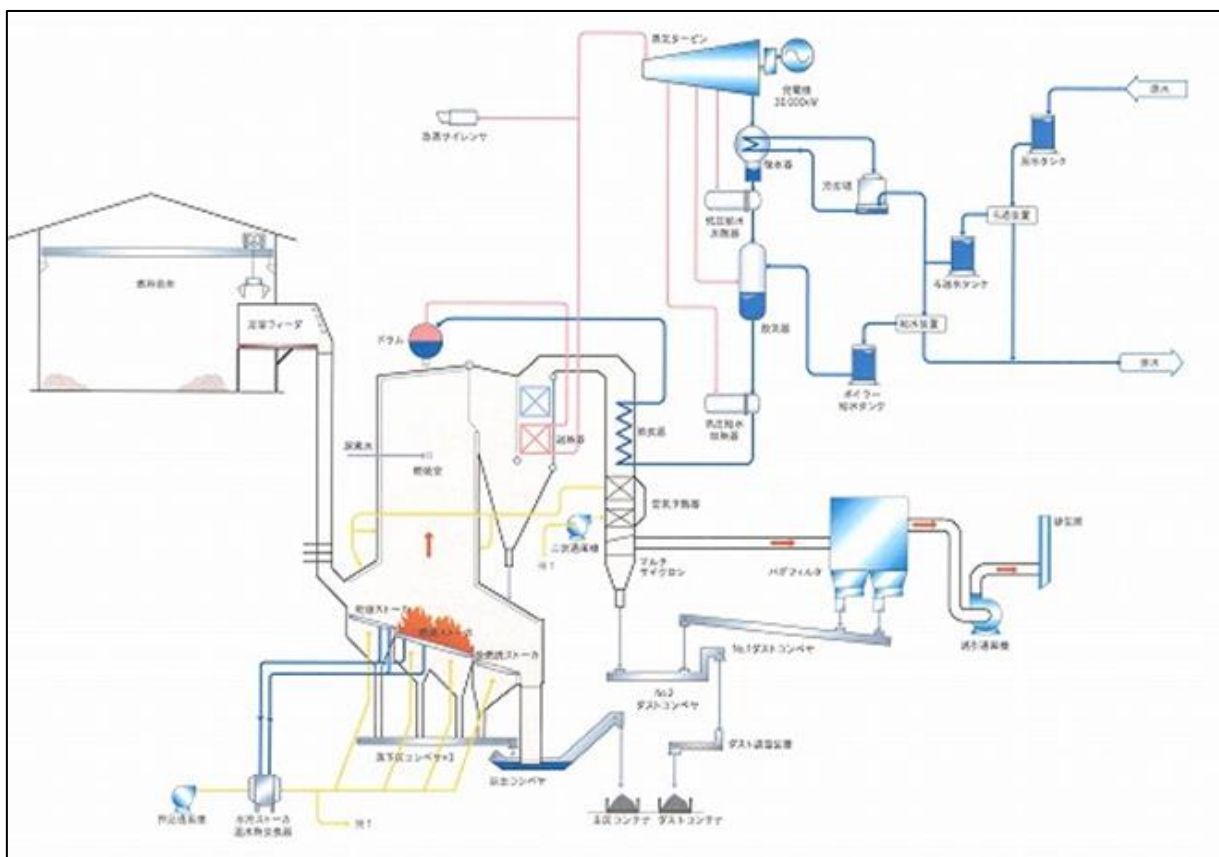
出典：yahoo 地図(<https://map.yahoo.co.jp/>)

＜赤穂発電所の発電能力＞

	既設		新設
	第1バイオマス 発電設備	ガスタービン 発電設備	第2バイオマス 発電設備
発電出力 (kW)	16,530	8,217	30,000
蒸気量 (t/hr)	77	60	121

既存発電設備 ; 24,747 k W / 既存+新設発電設備 : 54,747 k W

2. 第2バイオマス発電設備のフロー図



- ✓ 火炉底に設置された階段状のストーカ（火格子）の上でストーカの前後動により燃料を攪拌・移動させながら燃焼させる方式（階段ストーカ式ボイラ）。

性状の異なる複数種の木質チップ、樹皮、PKSと燃焼特性の異なる燃料を混焼するため、燃料の変動の影響を受けにくい階段ストーカ式ボイラーを採用。

以上